

やまりん新聞



謹賀新年

昨年とは格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も何卒昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

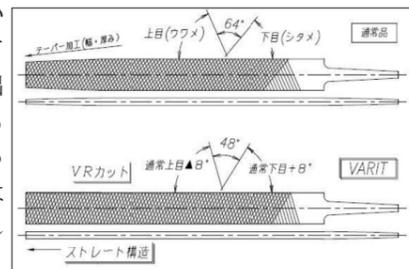
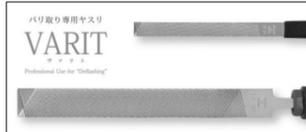
株式会社 山崎 従業員一同



バリ取り専用ヤスリ「VARIT」

今回はバリ取り作業に特化したツボサン製ヤスリ「VARIT(ヴァリト)」をご紹介します。

通常一般的なヤスリは多くの場面で使用しやすいように考えて作られています。例えば平面出し作業をしやすくするためテーパ構造になっていますが、VARITは根元から先端まで同じ



幅・厚みのストレート構造です。またヤスリ目もVRカットという通常目より鋭角になっています。

サイズ:

全長215mm(ヤスリ長110mm)と全長315mm(ヤスリ長200mm)があります。

タイプは下記の三種類がありそれぞれに荒目・中目・細目があります。

スタンダード:

一般的なバリ取り作業にお勧めです。

クイックカット:

表面に化学処理が施されており切れ味がスタンダードよりアップしています

ブライツ-900:

クイックカットに特殊硬質クロムメッキを施しています。クイックカットの切れ味に「目詰まりしにくい」と「耐久性」を追加した商品です。

熱処理後の鉄系につきましてはブライツ-900スーパーDなどのダイヤモンドヤスリのご使用をお勧めします。

	スタンダード	クイックカット	ブライツ-900
ゴム系	△	○	◎
木材	○	○	◎
樹脂、プラスチック系	△	○	◎
軟鉄系(Al等)	△	△	◎
鉄系(熱処理前)	○	◎	◎
鉄系(熱処理済)	×	×	×

やまりんの”雑学で快適生活”

お正月に初詣といえば「おみくじ」を引く方が多いと思いますがいかがですか？

おみくじを引くと出た結果に一喜一憂しますが、吉と中吉どっちが良かったんだっけ?とか、よく分かってないまま、おみくじを神社の木に結んでその場を後にするって事ありませんか？



この辺りの疑問をネットで確認してみました。

まず縁起の良い順番ですが、

1. 大吉>吉>中吉>小吉>末吉>凶>大凶
 2. 大吉>中吉>小吉>吉>末吉>凶>大凶
 3. 大吉>中吉>小吉>吉>半吉>末吉>末小吉>凶>小凶>半凶>末凶>大凶
- 等々検索結果が挙がってきました。どうも諸説あるようです、どれが正しいというのはいないようです。

また、引いたおみくじを神社の木に結ぶのか? (木に結ぶと木が痛むので指定場所を設けていることが多いですが)、持ち帰るのか? どちらが正しいのでしょうか。これも諸説あり、境内にある木は神様と関わりが深く、その木におみくじを結ぶということは、神様と縁を結ぶという意味になるという説。凶札が出た時は神社に凶の運気をとどめて神様に守ってもらう事を願う意味で木に結ぶのも良いと言う説。これに関しても一概にこうあるべきとは言えないようで、

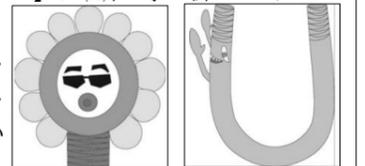
おみくじを持ち帰って、時折書かれている事を見て一年間の教訓とするのも良いかもしれません。

一つ言える事は、書いてある事が良くても悪くても、謙虚な気持ちで一年を過ごして行くことが大切なのではないでしょうか。

アフロックとラブユー

【アフロック】と【ラブユー】は(株)山崎の新しいイメージキャラクターです。

【アフロック】はアイボルトを、【ラブユー】はUボルトをそれぞれモチーフにしています。



アイボルトは、その形が目(Eye)に似ていることから「Eyebolt」と呼ばれます。また、Uボルトは文字通りアルファベットのUの字に由来しています。

アイボルトは「吊りボルト」とも呼ばれるように、部材の吊り上げ時に用いられます。一方、Uボルトはパイプ(丸形)の固定に用いられます。上のキャラクターでは、アフロック(アイ:I)にラブユー(ユー:You)が、「I love You」とプロポーズしているよ(左下へ)

(右上から)うに見えますが、実際のネジの世界ではアイボルトとユーボルトを組み合わせて使うことはありません。

アイボルトはJIS B1168で、Uボルトは船用鋼管取付けUボルトとしてJIS F3022(旧規格)で規定されています(メーカー独自規格もあり、各部サイズが異なるので要注意です)。

アイボルトとUボルトともに各種取り揃えております。詳しくは、営業担当または店頭までお問い合わせください。

ねじの雑学

今回はユニファイねじについてももう少し詳細に見ていきたいと思ひます。

ユニファイねじはアメリカで規格化されたねじで、JISではその一部であるユニファイ並目ねじとユニファイ細目ねじが表1のように規定されています。

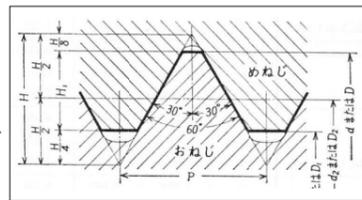


図5 ユニファイねじの標準山形

JIS B 0206(ユニファイ並目ねじ)とJIS B 0208(ユニファイ細目ねじ)では適用範囲が「航空機その他特に必要な場合に限り用いる・・・」と記述されていますので、日本国内では、通常の用途でユニファイねじを使用すること

表1 JISで規定されているユニファイねじ

表題	JIS
ユニファイ並目ねじ(Unified Coarse Screw Threads)	JIS B 0206
ユニファイ並目ねじの許容限界寸法及び公差	JIS B 0210
ユニファイ細目ねじ(Unified Fine Screw Threads)	JIS B 0208
ユニファイ細目ねじの許容限界寸法及び公差	JIS B 0212

を推奨していないようです。またユニファイ並目(あるいは細目)ねじはISO263(※1)に規定されている並目(あるいは細目)系列のねじと同じです。

JIS B 0206(あるいはJIS B 0208)はユニファイ並目(あるいは細目)ねじの標準山形と標準寸法(図5)を規定しています。標準山形と標準寸法の定義はメートルねじのそれらと同じです。各標準寸法の定義は以下の通りです。

- D: めねじ谷の径の標準寸法(呼び径)
- d: おねじ外径の標準寸法(呼び径)
- D2: めねじ有効径の標準寸法
- d2: おねじ有効径の標準寸法
- D1: めねじ内径の標準寸法
- d1: おねじ谷の径の標準寸法
- H: とがり山の高さ
- P: ピッチ

また、ねじの呼びに対するそれぞれの標準寸法を表2に一部抜粋します。ねじの呼びとねじ山数が分かれば表2の数値を計算で導くことができます。1/2-13UNCおねじを例にして、標準寸法を導いてみます。図6、図7を参考にしてください。

- ピッチP: $P = \frac{25.4}{13} = 1.9538$
- ねじ山数が25.4mmにつき13山だから $P = 25.4 / 13 = 1.9538$
- 外径d: $d = 25.4 / 2 = 12.700$
- とがり山の高さH: $H = P \times \cos(30^\circ) = P \times 1.73205 / 2 = 0.866025P = 1.6920$
- ひっかり高さH1: $H1 = H - (H/8 + H/4) = (5/8)H = 1.058$
- 有効径d2: $d2 = d - (3/8)H \times 2 = 12.7 - (3/8) \times 1.6920 \times 2 = 11.431$ (※2)
- 谷の径d1: $d1 = d - H1 \times 2 = 12.7 - 1.058 \times 2 = 10.584$

表2 ユニファイ並目ねじの標準寸法(一部抜粋) 単位mm

ねじの呼び	ねじ山数(25.4mmにつき)n	ピッチP	ひっかり高さH1	めねじ		
				谷の径D	有効径D2	内径D1
1	2			おねじ		
				外径d	有効径d2	谷の径d1
No. 6-32UNC	32	0.7938	0.430	3.505	2.990	2.647
No. 8-32UNC	32	0.7938	0.430	4.166	3.650	3.307
No. 10-24UNC	24	1.0583	0.573	4.826	4.138	3.680
	No. 12-24UNC	24	1.0583	0.573	5.486	4.798
1/4-20UNC	20	1.2700	0.687	6.350	5.524	4.976
5/16-18UNC	18	1.4111	0.764	7.938	7.021	6.411
3/8-16UNC	16	1.5875	0.859	9.525	8.494	7.805
7/16-14UNC	14	1.8143	0.982	11.112	9.934	9.149
1/2-13UNC	13	1.9538	1.058	12.700	11.430	10.584

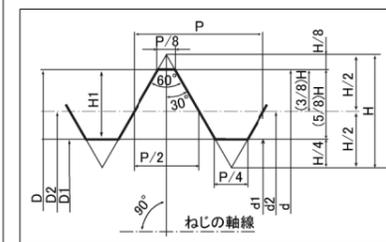


図6 ユニファイねじの標準寸法

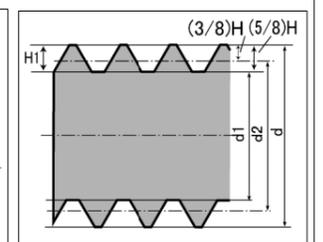


図7 図6をねじ全体で表示

※1 ISO inch screw threads.General plan and selection for screws, bolts and nuts-Diameter range 0.06 to 6in
※2 計算誤差により数字末尾がJISと違います。ご了承ください。

ご意見、ご不明点等ございましたら下記までお願いいたします。